

八重山地域における 畜産基盤整備事業

八重山地域においては、畜産が農業粗生産額の五割強を占めておりますが、畜産の中でも肉用牛が約九割を占めており、肉用牛の飼養においては、飼料基盤の整備が重要となっています。



造成草地（事業導入後）

造成草地（事業導入前）

1 はじめに

沖縄県の肉用牛は、粗飼料生産基盤の整備、恵まれた自然条件による生産性の高い飼料生産を背景に順調に伸びており、平成十二年の飼養頭数は八万七千頭とこれまでの最高を記録しています。

このような中で、八重山地域においては、広大な飼料基盤を活用し、放牧を主体とした低コスト生産を行うことにより、平成十二年の飼養頭数は三万六千八百頭と、沖縄県全体の四十六％を占め、肉用牛の生産振興に大きく貢献している他、島々の活性化に大きく寄与しています。

2 畜産基盤整備事業の導入

（一）事業導入の経緯

八重山地域は以前から牧畜業が盛んでしたが、旧来の肉用牛生産は野草地を主体とした周年全面放牧の飼養形態が主で、粗放的な管理が行われていました。

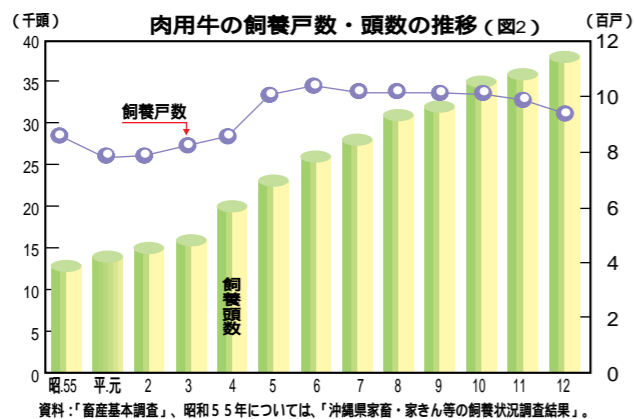
しかしながら、粗放的な管理技術では生産拡大に限界があり、草地基盤の拡大及び草地管理等の新しい技術の導入が必要でした。

このため、国、県、市町が一体となつて、昭和四十七年度に団体営草地開発整備事業、昭和五十一年度に畜産基地建設事業、昭和五十五年

（二）肉用牛飼養頭数の増大

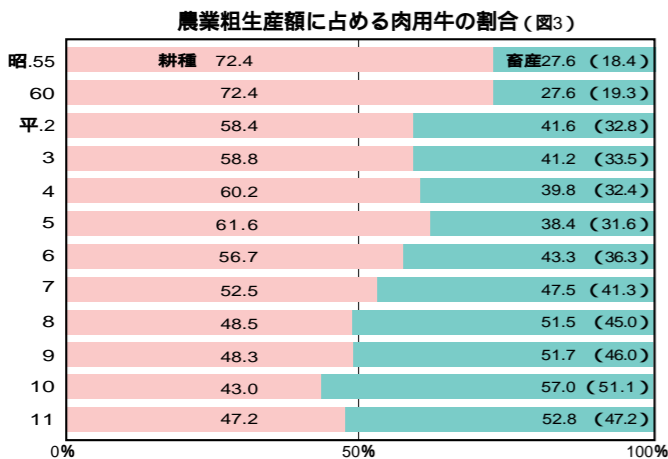
平成十二年における肉用牛の飼養頭数は三万六千八百頭（過去最高の頭数）で、昭和五十五年と比較すると二・九倍となっており、頭数は一貫して増加しております（図2）。

一戸当たり飼養頭数は県平均の二十三・三頭を大きく上回り、三十九・三頭となっています。



（三）畜産粗生産額の拡大

平成十一年における八重山地域の農業粗生産額は百二十八億三千万円で、部門別では肉用牛を主とする畜産部門が六十七億八千万円と農業粗生産額の五十二・八％を



八重山の放牧状況

占めています。中でも、肉用牛は六十億六千万円で全体の四十七・二％、畜産の八十九・四％を占めています。

これを、昭和五十五年と比べてみると肉用牛は十七億三千万円（全体の十八・四％）から平成十一年には六十億六千万円（全体の四十七・二％）と三・五倍に伸びています。

その主な要因は、豊富な飼料基盤に裏付けされた低コスト粗飼料の安定的供給が確保されたことによるものです（図3）。

4 最後に

八重山地域において今後とも、肉用牛の安定的な生産拡大を図るためには、粗飼料の安定的確保が最も重要です。このため、未利用・低利用地の集積等により草地面積の拡大を図るとともに、低利用草地の整備、更新や草地肥培管理技術の向上等により草地の生産性を高める必要があり、飼料基盤に立脚した低コスト生産を今後とも推進することとしています。

八重山地域における畜産基盤整備事業の実績（表1）

事業名	地区名	市町村	事業実施期間	草地造成面積	総事業費	国費
畜産基地建設事業	石垣第一	石垣市	S51～54	291	32.7	22.6
	石垣第二	石垣市	S54～58	290	74.3	53.7
	八重山第一	石垣市・竹富町	S58～62	250	45.4	33.5
	与那国	与那国町	S60～H2	193	37.5	28.0
	八重山第二	石垣市・竹富町	S62～H4	238	31.9	23.9
	小計			1,262	221.8	161.7
畜産基盤再編総合整備事業（公社畜産基地建設事業）	竹富町第一	竹富町黒島	H5～9	111	13.9	9.3
	ばいぬしま	竹富町・小浜島 西表島・波照間島	H9～12	53	14.6	9.7
	竹富町第二	竹富町黒島	H10～12	80	12.1	8.1
	小計			244	40.6	27.1
団体営草地開発整備事業等			S47～H12	1,047	40.7	21.1
	小計			1,047	40.7	21.1
農業公社牧場設置事業			S55～H5	81	14.1	6.6
	小計			81	14.1	6.6
合計				2,634	317.2	216.5

に農業公社牧場設置事業、平成五年度からは公社畜産基地建設事業（現在の畜産基盤再編総合整備事業）を導入し、生産基盤の拡大を積極的に図っています。

（二）事業の概要

これらの畜産基盤整備事業の平成十二年度迄の実績をみると（表1）、全体で草地造成面積等が二千六百三十四ヘクタール、事業費三百十七億二千万円と、草地面積の拡大、施設の整備等が行われています。中でも、昭和五十一年度から実施された畜産基地建設事業では、黒島の岩盤を砕いて草地に造成するスタビライザー工法等も開発導入さ



スタビライザーによる採草放牧地の造成

れ、また、草地管理利用の近代的な技術（輪換放牧や貯蔵飼料の生産等）も導入されました。